

地域を支える大人のか 学校を支える子どものか

タイムリーでないニュースで申し訳ありませんが、5日（月）の午後から雪がたくさん降りました。天気予報通りでしたのである程度は備えていたとは言え、久しぶりの大雪で雪かきが追いつかない状況でした。一度かいたところも見るとうちに積もっていきます。夕方には車が雪で埋まっているような状態となりました。夜半前にはやむという予報でしたの



で、あとは翌朝に回すとして、自宅周辺の雪かきをすべく帰宅することにしました。

道中、いたるところで雪かきをしていらっしゃる方がおいででした。学校から近い和合橋の横を通った時、橋の上の歩道をかいてくださっている方に気づきました。お一人で端から端までかいてくださったものと思います。私が気づいていないだけで、雪が降るたびにずっとそうしてくださっているのかもしれませんが。とても重い雪であるだけに、たいへんありがたく、頭が下がる思いでした。

翌朝、いつもより早めに出勤しましたが、国道の歩道にも子どもが歩けるように道を掘っていただいていることが分かりました。ご高齢の方が雪を片付けてくださっている姿も拝見しました。再び頭が下がりました。

学校へ着くと、既に庁務員の先生や教頭先生が雪かきをしてくださっていました。校門の手前まで地域の方が雪をかいてくださってありましたので、子どもたちが登校する前に続きの道を掘りました。教頭先生はフラワーロードをバス停まで掘ってくれました。徐々に遠くから通勤する職員も到着し、学校に続く3本の道や、外来者用駐車場、給食コンテナ車が通る道などの雪をどんどん片づけました。子どもたちも大活躍し、無尽蔵の持久力で休まずどんどん雪をかいてくれました。頼もしかったです。

始業後は各学年時間をとって久しぶりの雪あそびに興じていました。校庭にはいくつもの雪の山やかまくらができ、「こんな光景はいつ以来だろう？」と思うほどでした。翌日にはもう遊びにくい雪質になってしまいましたので、火曜日にたっぷり遊べてよかったなあと思います。

さて、自治会ごとに「雪が○cm降ったら雪かきをする」といったことを決めていた

だいているところが多いものと思います。上田は降雪量が多くないとはいえ、**長野県は雪国**です。雪は降って当たり前とも言えます。雪とどう付き合っていくのか、**地域の皆様のお姿から、ご家族の大人の背中から子どもたちは学んでいく**のだと思います。今回の雪では、子どもたちはたくさん学び、そしてたくさん遊ぶことができました。皆様方のおかげです。これからもよろしくお願い致します。

.....

大雪が降り始めた5日の昼のことです。私からのリクエストに
え、**5年生の児童会新役員のみな
さんが校長室に来てくれました。**
これからの児童会活動をどのよう
にしていきたいのかを聞かせても
らいたかったのです。なかなか時
間がとれないので、お昼の時間
を使ってのランチミーティングと
なりました。



担当する委員会で取り組みたい
イベントについて話してくれたり、自分の委員会単独ではなく、他の委員会とコラボ
レーションしての活動を考えていると教えてくれたり、これまでにない新たな企画を
考えようとしていたりすることが分かる貴重な時間となりました。参加してくれた役
員のみなさんも、校長室で給食を食べ、自分たちの考えを話せたことに喜びを感じら
れたようです。

今回は体調を崩してお休みしていた役員さん
もいましたので、また1年間の中で何回か、
こうした機会を設けられたらと思います。

**児童会を引き継いだ5年生のみなさん、創
意工夫して活発な児童会にしていましょ
う。期待しています！**



そうじを見に来て！キャンペーン <続報>

先月19日にHPを更新して以降、**私が清掃時間に学校にいた日の全てに「見に来て！」の予約が入る大盛況**となっています。廊下で会った時に何かのついでに予約を受けることもありますが、校長室を一人で尋ねてきて予約してくれる子もおり、そうじを「楽しい」と思える子が少しずつ増えていると思うとうれしいかぎりです。

予約カレンダーがこれからも埋まっていくといいなあと思います。